

II 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	厚真町学校給食センター厨房機器更新事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		厚真町	
交付金事業実施場所	勇払郡厚真町新町		
交付金事業の概要	厨房機器購入 ・ 電動水圧洗米機 1基 ・ 計量洗米ライン制御盤 1基 ・ 洗米浸漬配米機 1基 ・ 反転ほぐし機 1基 ・ パススルー冷蔵庫 1基 ・ インバーター制冷凍庫 1基		
総事業費	12,960,000 円	交付金充当額	12,348,000 円
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	12,348,000 円
交付金事業の成果及び評価	町立学校給食センターの調理機器である電動水圧洗米機・計量洗米ライン制御盤・洗米浸漬配米機・反転ほぐし機は、給食の米を炊きあげ、ほぐすまでを一連のラインとして行うものである。またパススルー冷蔵庫は汚染区域である下処理区域から厨房へ食材を一時保管するものであり、インバーター冷凍庫は、衛生基準である-22℃以下で保存するものである。学校給食センターが整備された平成12年に設置されてから15年が経過しており、経年劣化による故障が多数発生し、給食の調理に支障が生じている。 本事業により上記機器を更新し、月間約9,700食の給食調理の効率化を図ることができた。本事業は、施設の適正管理及び地域住民の福祉の向上充実に資するものと評価する。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	厨房機器購入	指名競争入札	(株)中西製作所北海道支店
			契約金額 12,960,000 円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無		なし	
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方		事業は本年度で完了	
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数位を用いて記載すること。
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見直し等について記載すること。

II 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	厚真葬苑火葬炉施設改修事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		厚真町	
交付金事業実施場所	勇払郡厚真町字美里		
交付金事業の概要	火葬炉施設改修工事 ・主燃焼室N煉瓦全面改修 ・電動キャリア台車改修		
総事業費	3,261,600 円	交付金充当額	3,000,000 円
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	3,000,000 円
交付金事業の成果及び評価	厚真葬苑は、平成3年に建設された火葬施設であるが、整備から21年が経過しており老朽化が進んでいた。主要設備である火葬炉設備2基により運営しているが、当該火葬炉設備については特に経年劣化による老朽化が著しく、設備の使用に支障が生じており早期の改修が必要となっていた。 本事業において主要設備である火葬炉設備の大規模改修を行ったことにより、施設の適正な運営管理と施設の長寿命化及び地域住民の福祉の向上充実が図られた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	火葬炉施設改修工事	随意契約	株式会社 宮本工業所
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無		なし	
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方		事業は本年度で完了	
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数位を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見直し等について記載すること。

II 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	福祉対策措置	厚真町立保育園運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		厚真町		
交付金事業実施場所	勇払郡厚真町京町 及び 勇払郡厚真町字上厚真			
交付金事業の概要	保育士人件費 3人分 6～12月分給与			
総事業費	10,359,369 円	交付金充当額	4,000,000 円	
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	4,000,000 円	
交付金事業の成果及び評価	<p>厚真町においては、「子育て支援・教育環境の充実」「移住定住の促進」を図るための施策を展開しており、子育て世帯の移住定住が増加傾向にある。特に上厚真市街地においてはそれら施策について重点的に取り組んでおり、近隣市町で働く子育て世代をターゲットにして、新たに宅地を整備し、平成26年1月より分譲を開始した。また平成26年度において、同地内に子育て支援住宅5戸を建設し、さらなる子育て・移住定住環境整備を進めている。このような施策を進めていることから上厚真市街地に位置する宮の森保育園については、入所者が増加傾向となっており、保育環境の充実を図るため認定こども園化の計画を進めていることから、今年度より1名であった正職員の保育士を2名とし、運営体制の強化を図った。また、厚真市街地に位置する「こども園つみき」についても、町立保育園であった旧京町保育園を就学前の教育・保育ニーズに対応するため、平成24年度より認定こども園化し、保育士を増員することにより保育及び運営体制の強化を図っている。</p> <p>本事業において保育士の人件費に本交付金を充当したことにより、児童156名に対する安心安全な保育環境の確保が図られた。本事業は、子育て世帯に対する支援及び地域住民の福祉の向上充実に資するものと評価する。</p>			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	保育士3人分の人件費	—	—	10,359,369 円
				円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			なし	
本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			予定なし	
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数位を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、來年度以降の本事業の事業の見直し等について記載すること。